

目 次

まえがき

日 程

特別研究 I

- ・ハッセル・ブリング（米国バンダービルト大学ピーボディーカレッジ 教授）
学習に遅れのある子どものための“わかりやすい”教材を目指して
－アニメドラマ、パソコン、インターネット等を利用したマルチメディア教材の活用－ …… 1

特別講演 II

- ・マイケル・ベアマン（米国ジョージメイソン大学教育学部 教授）
幼児期からの能動的なコミュニケーションの力を育てるための工夫の実際
－電動おもちゃ、コミュニケーション・エイド及びコンピュータ等の機器利用－ …… 19

講 演

- ・木 塚 泰 弘（国立特殊教育総合研究所視覚障害教育研究部 部長）
理想的な社会環境を目指して －バリアフリーとユニバーサルデザイン－ …… 35

パネルディスカッション

テーマ「チームによるアプローチとネットワークづくり」

基調報告 成 田 光 順（社会福祉法人やまぶき園 指導主任）

障害児とその家族に対する地域支援体制に関する実践的研究

－過去3年間行ってきた地域支援の実践活動より－

基調報告 中 澤 恵 江（重複障害教育研究部重複障害教育第二研究室 室長）

佐 藤 正 幸（聴覚障害教育研究部難聴教育研究室 研究員）

中 野 泰 志（視覚障害教育研究部弱視教育研究室 主任研究官）

障害を併せもつ子どもたちへのチームアプローチ

－盲ろうの子どもたちとの合宿を通して－

指定討論 斎 藤 信 治（元秋田県立栗田養護学校 校長） …… 53

資 料 ワークショップ「障害を理解し、ともに学ぶための疑似体験」

－難聴の理解と疑似体験－ …… 87